



私たちは、かながわ県医療的ケア児者家族会～つなぐ～です

我が子の障害がわかった時、「なんでこの子が…」と
先の見えない不安に押しつぶされそうだった。

我が子が医療的ケア児になった時、あまりのマイノリティさに孤独だった。

そんな暗いトンネルのような時期も、

仲間とつながることで明るい未来に変わっていった。

こんな経験をした私たちが立ち上げた会です。

活動内容

情報交換会、勉強会、おしゃべり会など(会費不要)

対象

医療的ケア児者、そのご家族、医療的ケア児者に関わる
専門職の方など

お問い合わせ

かながわ県医療的ケア児者家族会 代表 小山
kanagawaikeatunagu202202@gmail.com
お気軽にお問い合わせください。



E-mail



Instagram

かながわ県医療的ケア児者家族会 ～つなぐ～

設立4年目 現在 87名会員

**横浜、川崎、横須賀、逗子、葉山、鎌倉、藤沢、
茅ヶ崎、平塚、伊勢原、大和、厚木、座間、秦野、
小田原、海老名のメンバーが在籍。**

医療的ケア種別は幅広く、比較的、呼吸器の子が多い。

また医療的ケア児者かつ重心児者が多い。

大半が当事者家族（1歳～27歳 令和7年度時点）

**20名弱は支援者（医師、看護師、福祉事業所管理者、
ケースワーカー等）**

全国医療的ケアラインに所属

当会は要望団体ではなく、当事者交流団体

医療的ケア児者に関して

人工呼吸器や胃ろう等を使用し、たんの吸引や経管栄養などの医療的ケアが日常的に必要な方。

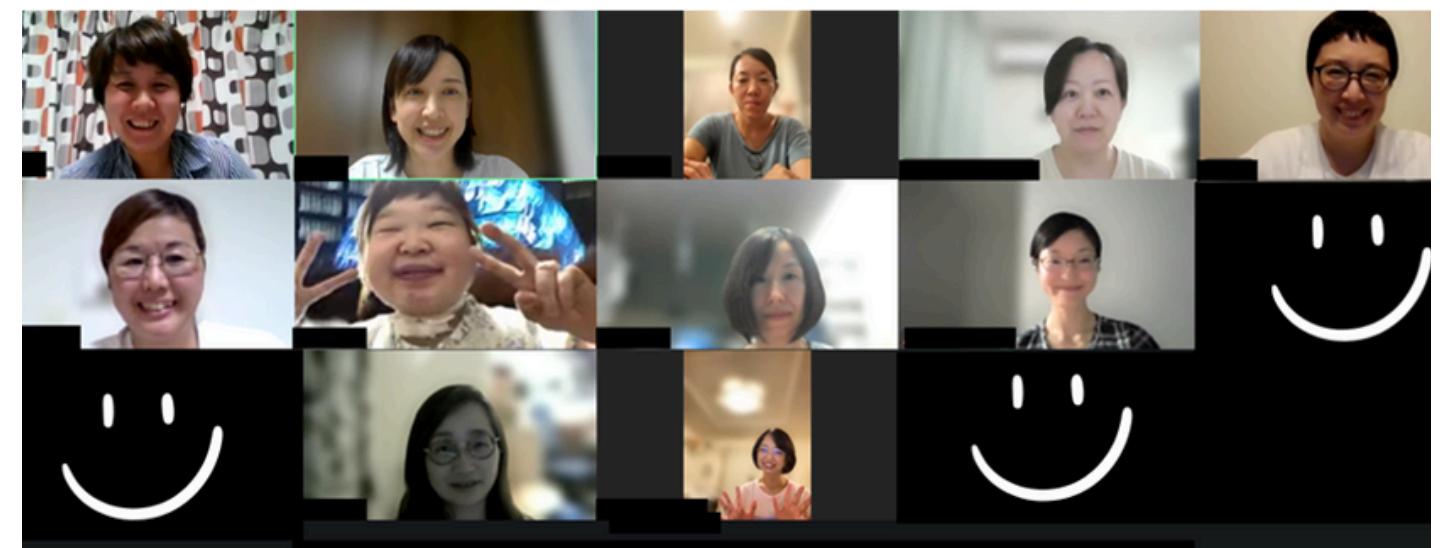
全国の医療的ケア児は2万人

神奈川県では、1130名（令和3年度県調べ）



当事者家族と繋がって話したい、共感してもらいたい、
経験談を教えてほしいと思っても
どこで出会えるのか、授かったばかりの頃はわかりづらい
↑
会を作れば、連絡さえしていただければ、
当事者家族と話せる場を提供できると考えた！

1, 医療的ケア児者の日々変動する状況、お気持ちに合わせて、
都度、お好きな距離感で繋がって頂けるよう、
様々な交流スタイルを用意している。

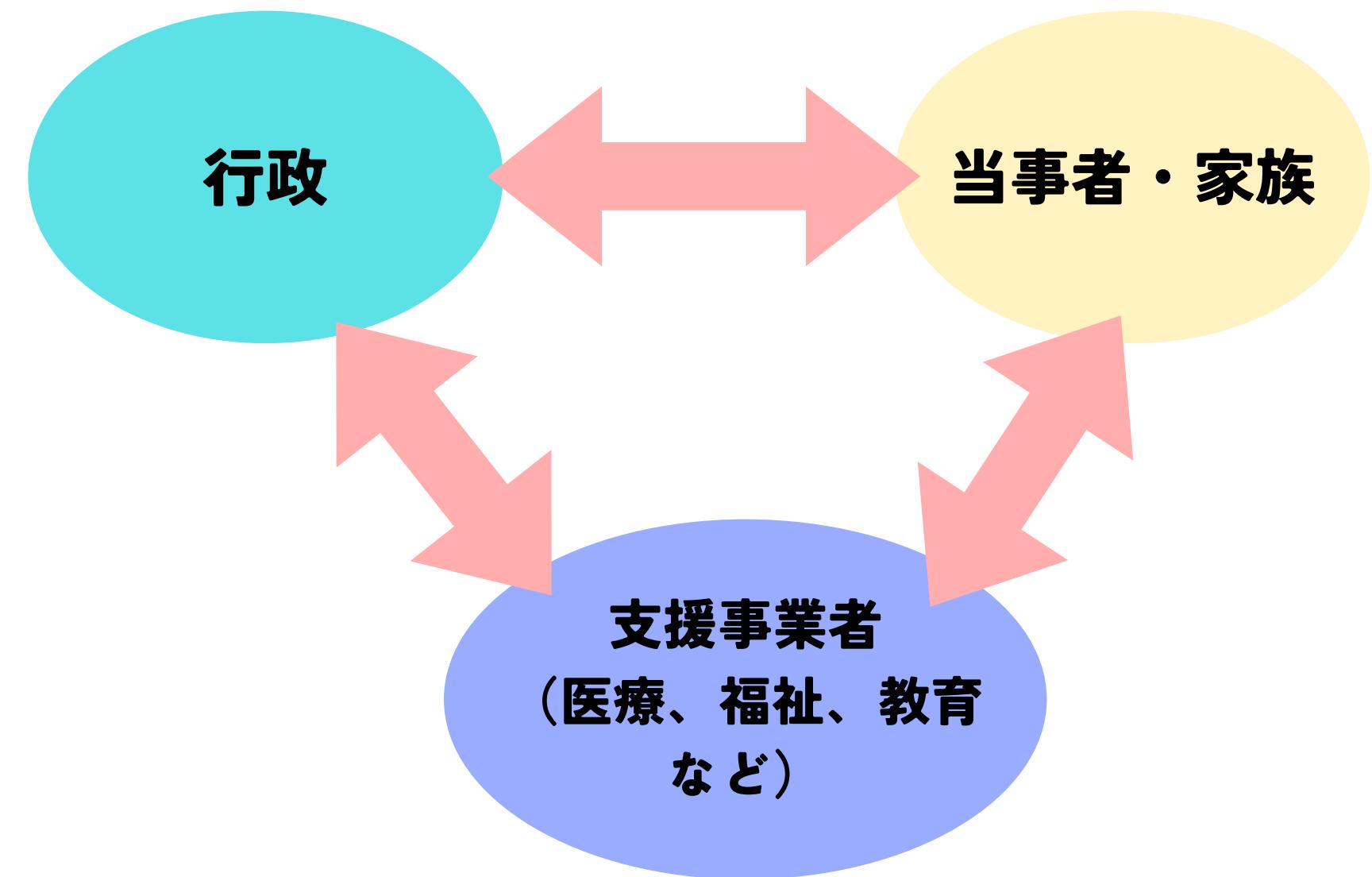


その他に、
グループLINE
個別ピアサポート
交流会なども行っている

2, かながわ医療的ケア児支援センターと共に催で交流会を数多く開催し、行政、支援事業者、当事者家族をフラットに繋ぐネットワーク作りを神奈川県の各地域で行っている。



学童期交流会



主観、先入観を押し付けず、俯瞰した交流会を開催出来るよう、外部講師を招き定期的に研修を受講

3, 全国医療的ケアライン（通称：アイライン）に所属
(全国45都道府県の家族会をネットワーク化した団体。
会員約4000名。<https://www.i-line.jp/>)



「一人じゃないんだ、同じく医療的ケア児者の方がいるんだ、
頑張って育てているんだ」というつながりをより感じられる

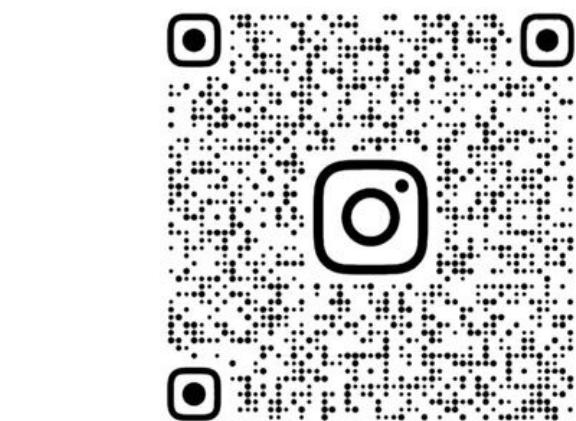


今後の課題

■当会が繋がりが少ない地域がまだあるため、その強化。行政、支援者、当事者家族が三位一体で支援環境を作れるということ

を啓蒙していく。

■ピアソーター研修を公開し、当会メンバー関係なく、神奈川県下いろいろな地域で、客観的なピアサポートを行う風土を作っていく



@TUNAGU_KANAGAWA
Instagram

ご清聴、ありがとうございました！

ピアソーター研修

——傾聴と要約——

目の前にいらっしゃる方が伝えたいことは何か
語られる言葉の中から、伝えたい内容を的確に捉え、要約することを学びます。
傾聴の基本に立ち返る研修にしたいと思います。

講師

12.15(月)
10:00 ~ 12:00

開催場所
zoomにて
URLはお申し込み後にお知らせします

参加費
無料

申込締切日
12.5(金)

<https://shhr.info/>
人と人研究会HP

お申し込みはこちら

お問い合わせ

※講義はレコーディングします。事前にご承諾のうえお申し込みください。

お申し込み後1週間経ってもURLが届かない場合は、
お手数おかけしますが、お問い合わせQRコードもしくはメールアドレスよりご連絡下さい。

主催
かながわ県医療的ケア児者家族会～つなぐ～
kanagawakeatunagu2022@gmail.com

